

【藤治ヶ峰開発組合 解散 寄付金をいただきました】

昨年12月17日(火)に『藤治ヶ峰開発組合』の組合長：清水 一博さんと会計：牧内 裕幸さんが自治振興センターを訪れて川路まちづくり委員会に寄付金をいただいたので報告します。

藤治ヶ峰開発組合は、三六災後に盛土のための土取り場候補地から藤治ヶ峰が外れたことを機に、藤治ヶ峰の土地利用を検討するために設立されました。

土地は、農振農用地(青地)のため農業用に利用しなければならぬという制約がありましたが、藤治ヶ峰は見晴らしの良い場所もあり、新しい土地開発を実現し夢のある施設勧誘を期待して活動されていました。

しかし、昨年11月の総会で組合員の高齢化により組合の解散が決まりました。



清水一博組合長から中島良彦会長に

そして、組合費の残金は川路まちづくり委員会に寄付することになったと報告されました。

寄付金：¥133,633円

用途は、農業振興、子育て支援等に役立ててくださいとのことです。

大事に使わせていただきます。



藤治ヶ峰は、川路の主要農地のひとつです。

※川路の主要農地は、

- ①二タ井地区 ②初の免平地区 ③藤治ヶ峰地区 ④農業ゾーン ⑤琴原地区 ⑥中原地区

青地の農地：開発には大きな壁になりますね！昨年のコメ不足や、食の安全を考えると農地の重要性は理解できますが、耕作しなければ耕作放棄地→荒地化ですね。農業が魅力ある生業として生計が立てられるようにならないと農業の未来は明るくない？食料自給率アップの必要性を感じる今日この頃です。

専業農家はごく僅か？
先祖代々の農地を守っている高齢者？
地域の環境保全に貢献していますね！



【飯田 OIDE 長姫高校商業科 地域人教育成果発表会】
『川路のよさはかわらんべ』を観覧してきました

地域人教育は、平成 23 年に飯田長姫高校で始まって以来、継続されている授業とのこと。「地域を愛し、地域を理解し、地域に貢献する」ことを目的とした授業で、地域に出て学び、地域で育ち、地域の中で研究活動を進めた成果の発表会として今回開催されました。

今年度は、全部で 10 班の成果発表があり、「川路班」のタイトル：『川路のよさはかわらんべ』を観覧したので、ようすを報告します。

【と き】 令和 6 年 12 月 24 日（火） 9 時 15 分～

【場 所】 県文化センター

【ようす】

地域人教育・・・硬いイメージ、地域の人たちを教育する？はじめてこの言葉を聞いた時の感想です。

正解は、**松本大学と飯田市と飯田 OIDE 長姫高校の三者が協定を結んで、地域で活躍する人材を育成する教育プログラム**です。今年で 13 年目とのこと私の認識不足でした！

川路班・・・商業科のメンバー 8 名。川路出身者無し。



川路の事を知ろうとする純真で冷静な気持ちで取り組んだ結果発表でした。

地域住民の話を聞く・・・「川路の子どもは川路で育てる」という言葉が心に残ったそうです。

そして、川路の子どもたちが大人になった時に帰って

きたいと思える思い出を作ることと、今ある川路の魅力を未来に残す活動をしていきたいと考えたそうです。➡嬉しいですね！



活動は？

- ① 川路を知る：住民の話を聞く
- ② 川路保育園で延長保育について聞か
かわらんべで川路の歴史を聞く
- ③ 川路土地管理組合のお話を聞く
- ④ アンケート実施
- ⑤ 川路散策
- ⑥ ハロウィンイベント参加
- ⑦ 川路文化祭ですごろくの体験・販売

「すごろく」のマス目には川路の魅力がいっぱい！
1 マユ、5 マユ、1 エコ、5 エコ はて？ 何のこと？ 答えはすごろくで・・・！



川路の皆さんにも是非観覧していただきたいと飯田 OIDE 長姫高校にお願いをした結果、川路公民館でも発表会をしていただけます。是非観覧ください！川路のよさは、川路に住んでいると気づかないこともあるのでは？

とき：2月15日（土）13時30分～
場所：川路公民館

